



平成29年度広島市IR資料

広島市財政局財政課

【第16回市場公募地方債発行団体合同IR説明会】

日時：平成29年10月24日（火）

会場：東京国際フォーラム





目次

(広島のまち)

■ 国際平和文化都市	3
■ 行事・スポーツ	5
■ 観光(世界遺産等)	6
■ 市の概要	7
■ 交通アクセス	8
■ 市の産業	9
■ 市のまちづくり	10

(財政状況と健全化への取組)

■ 「財政運営方針」について	17
■ 特別会計・企業会計決算の状況	18
■ 一般会計の市債発行額と残高の推移	19
■ 歳入構造	20
■ 歳出構造	21

■ 市税収入決算の推移	22
■ 基金残高の推移	23
■ 健全化判断比率の状況	24
■ プライマリーバランス	25
■ 主な出資団体の経営状況	26

(広島市の資金調達)

■ 起債運営方針	28
■ 平成29年度発行計画	29



国際平和文化都市 ～世界恒久平和の実現に向けて～

オバマ大統領広島訪問



平成28年5月

現職米大統領として初めて広島を訪問

“あの日の朝の記憶は決して風化してはならない”
(演説抜粋)

G7外相会合



平成28年4月

核軍縮・不拡散へ向け「広島宣言」を採択



国際平和文化都市 ～世界恒久平和の実現に向けて～

平和首長会議



原爆ドーム



原爆の子の像



平和記念公園

平成29年8月

長崎市において 第9回平和首長会議総会を開催

世界34か国170都市・団体から市長、各国大使、NGO関係者等、約320名が参加

採択文書

- ・ 平和首長会議行動計画(2017年-2020年)
- ・ ナガサキアピール
- ・ 核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議

「ナガサキアピール」「核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議」
を国連関係者や各国政府に送付



行事・スポーツ ～広島の行事～

フラワーフェスティバル
(5月3日～5日)



平和記念式典
(8月6日平和記念公園)



とうろう流し
(8月6日元安川)



広島東洋カープ



サンフレッチェ広島





観光(世界遺産等) ～広島の観光名所～

原爆ドーム
(世界遺産)



厳島神社
(世界遺産・廿日市市)



世界平和記念聖堂
(戦後建築物初の重要文化財)



平和記念資料館
(戦後建築物初の重要文化財)



広島城



—— 入込観光客数(平成28年) ——

1,261万1,000人
(うち外国人観光客 117万6,000人)

12年連続で1,000万人を上回り
6年連続で過去最高を更新
(外国人観光客数も大幅増となり
過去最高)



市の概要 ～広島市ってこんなまち～



1,198,572人

人口

(平成29年8月1日推計人口)



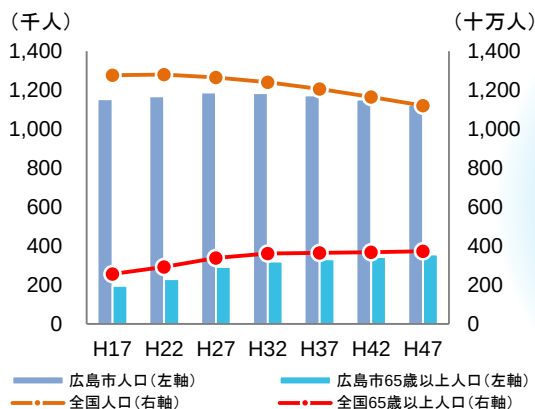
906.53km²

面積

(平成28年10月1日現在)

20政令市中第10位の人口を有する。人口は、当面増加傾向を維持した後、緩やかに減少する見込みです。

人口推移・推計



※ 国立社会保障・人口問題研究所の推計人口



平均気温**17.2℃**

気象

年間降水量**2,124mm**

いわゆる「瀬戸内気候区」に属しており、冬は瀬戸内海に流れ込む暖流の影響もあり、比較的温和な気候です。

略年表

明治22年	市制施行
昭和20年	原子爆弾により壊滅
昭和24年	「広島平和記念都市建設法」公布
昭和55年	政令指定都市広島誕生
昭和60年	人口100万人突破
平成元年	市制施行100周年
平成6年	第12回アジア競技大会広島開催
平成21年	(新)広島市民球場開設
平成22年	政令指定都市移行30周年
平成23年	松井市長就任(平成27年4月再任)



1 絵下山から臨む
広島湾の夕焼け



2 平和記念公園



3 広島みなと夢花火大会



4 太田川デルタ



交通アクセス ～広島市ってこんなまち～

広島市への交通アクセス



飛行機で広島空港まで



札幌	約2時間
仙台	約1時間30分
東京	約1時間20分
沖縄	約1時間40分

※広島空港から広島市内中心部までリムジンバスで約50分

新幹線で広島駅まで



仙台	約6時間
東京	約4時間
名古屋	約2時間20分
新大阪	約1時間30分
博多	約1時間
鹿児島	約2時間30分

広島市内交通

自動車専用道路網



山陽自動車道※



広島高速道路



その他の自動車専用道路※



アストラムライン



JR新幹線・在来線



広電宮島線・路面電車



広島港航路



鉄軌道系交通機関等

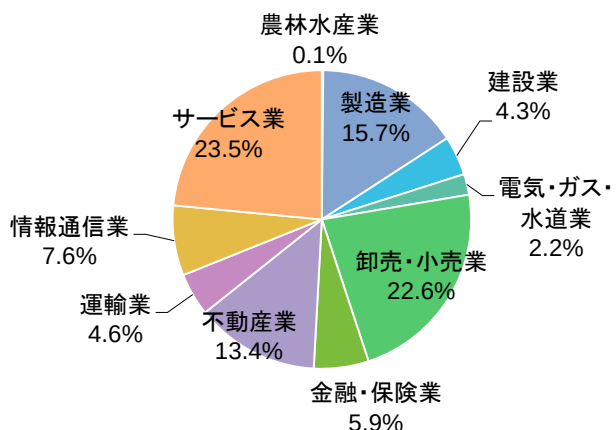
※写真提供: NEXCO西日本



市の産業 ～中四国の中核都市～

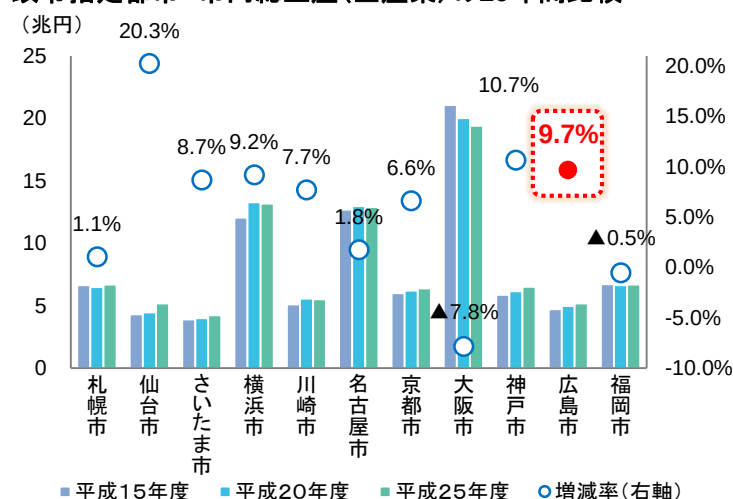
広島市の産業構造

広島市 産業別市内総生産(平成25年度)



※ 政府サービス生産者、対家計民間非営利サービス生産者除く

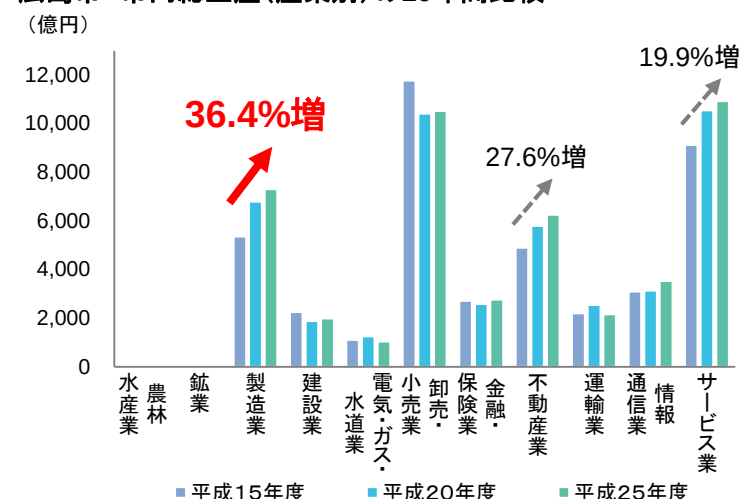
政令指定都市 市内総生産(全産業)の10年間比較



※ 人口100万人以上の政令指定都市で比較

※ 各地方公共団体ホームページをもとに広島市作成

広島市 市内総生産(産業別)の10年間比較



- 産業別市内総生産をみると、中核都市の特徴としてサービス業、卸売・小売業および不動産業の割合が高く、それに加え製造業の割合が高いことが広島市の特徴となっている
- 産業別に10年間で市内総生産を比較すると、製造業の伸びが著しく36.4%増となっている
- 市内総生産は、約5.2兆円(平成25年度)であり、中規模程度なものの、平成15年度より9.7%増加しており政令指定都市(人口100万人超)において11都市中3番目の伸びとなっている

広島市の産業構造は、卸売・小売業やサービス業などの中核都市としての特徴を持ちつつ、製造業が基幹産業となってそれらの産業を支える構造となっている



マツダ(株)提供



市のまちづくり ～楕円形の都心づくり～

広島「顔」である都心の求心力をいっそう高めるため、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を中心に、都市基盤の再整備や多様な都市機能の集約などを図り、二つの核が相互に刺激し高め合う「楕円形の都心づくり」を進めます。

中四国地方最大の商業・業務地である紙屋町・八丁堀地区では、回遊性やにぎわいをより一層高め、都心の魅力づくりをリードするまちづくりを進めます。



中四国地方最大の旅客施設であるJR広島駅を中心とした広島駅周辺地区では、広域的な交通結節点としての機能強化や市街地再開発事業の実施による都心の活力向上など、広島「陸」の玄関にふさわしいまちづくりを進めます。





市のまちづくり ～楕円形の都心づくり～

広島駅周辺地区



高速5号線広島駅北口IC(仮称)



若草町地区市街地再開発事業



広島駅自由通路等整備事業



広島駅南口広場の再整備等事業

『楕円形の都心づくり』を実現するために、公共交通を中心とした都市内交通の円滑化、中でも東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区のアクセシビリティの向上などの公共交通を中心とした都市内交通の円滑化を進めています。



広島駅南口Bブロック
市街地再開発事業



広島駅南口Cブロック
市街地再開発事業

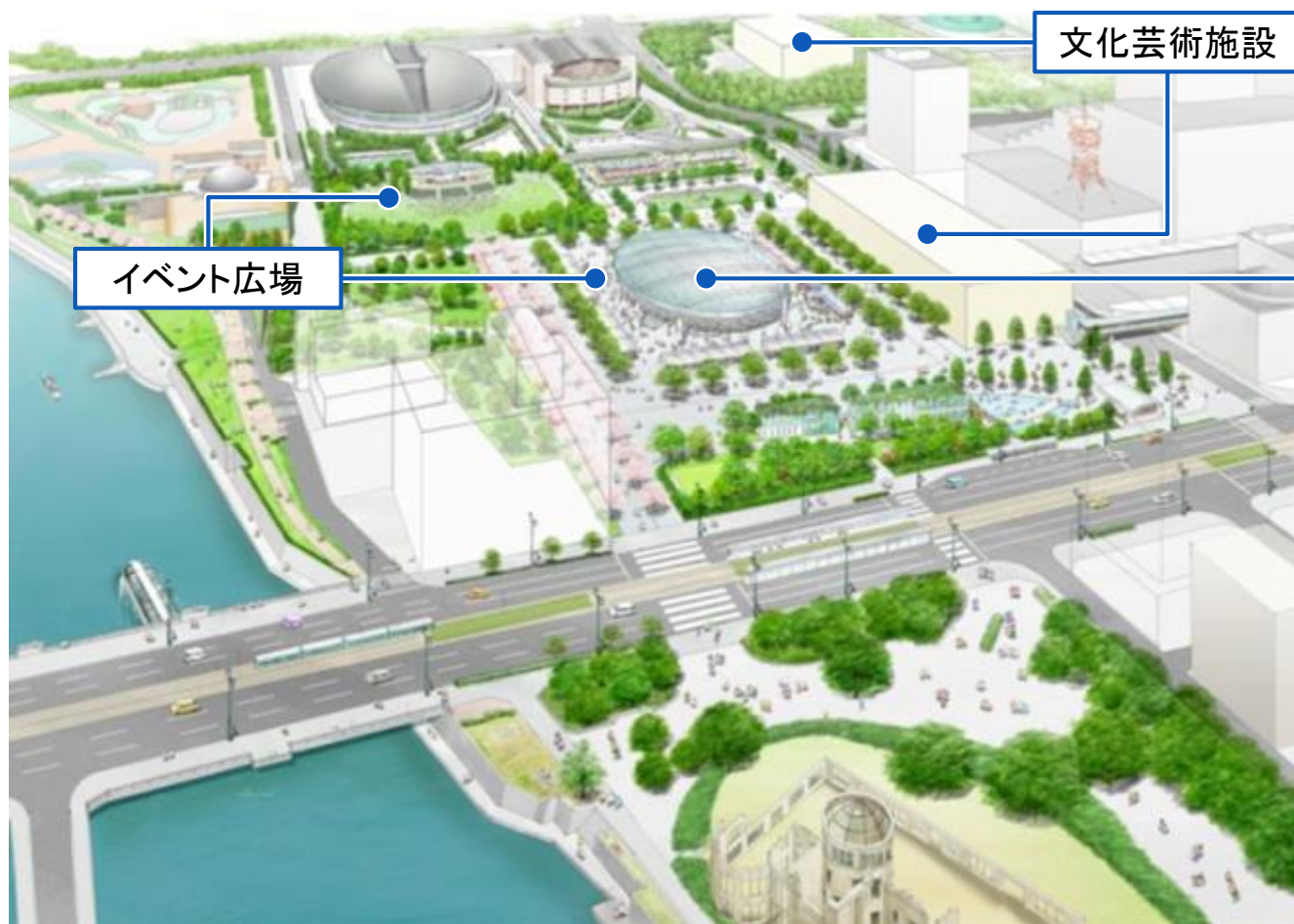


広島市民球場周辺地区開発事業
集客施設等の整備により球場と一体となったにぎわい空間の創出を図るほか、広島駅南口地区と球場とを結ぶ歩行者用道路の整備を進めています。



市のまちづくり ～楕円形の都心づくり～

紙屋町・八丁堀地区(旧広島市民球場跡地の活用)



屋根付きイベント広場イメージ

今後の取組

球場跡地については、サッカースタジアムの候補地の一つとなっていることから、サッカースタジアムの候補地の決定のプロセスを見極めつつ、活用の具体化に向けた検討に取り組めます。

平和記念公園とのつながりを考慮し、緑豊かなオープンスペースを中心とした空間とするともに、多様なイベントが開催できる空間とします。



市のまちづくり ～広島高速道路の整備～

高速4号線広島西大橋



高速3号線宇品大橋



平成9年6月
広島高速道路公社設立

- 整備計画(H26.3許可)延長 29.0km
- 供用区間延長 25.0km

高速5号線広島駅北口IC(仮称)
完成予想図



凡例	整備計画路線	
	供用区間	——
	事業中区間	---
	整備ランプ	○
	先送りランプ	△
	基本計画路線	---
	公共事業整備区間	---
	計画検討路線	●●●●



市のまちづくり ～広島市の特徴ある行政施策～

200万人広島都市圏構想

「連携中枢都市圏」制度を活用した施策展開により

圏域人口

200万人超

の維持を目指す

構成市町	(24市町)
広島県	(9市8町)
山口県	(2市5町)



広島広域都市圏の人口

2010年

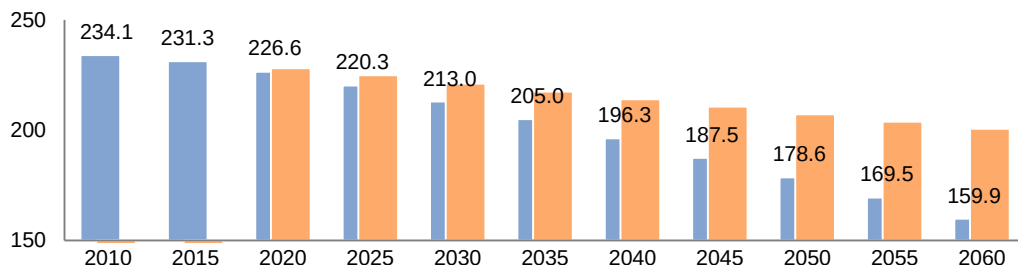
234万人

2040年

196万人

(国の推計)

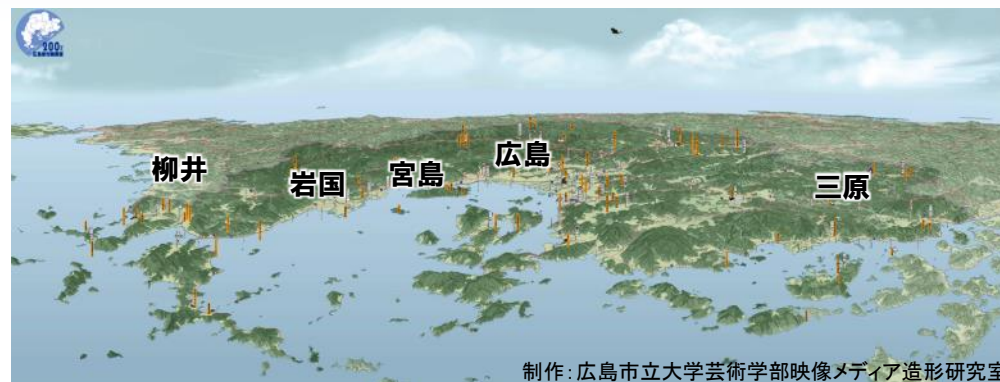
圏域人口将来推計



※ 資料：総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口(2013年3月推計)」
 ※ 2020年～2060年の前側のグラフは本市による人口の将来展望を、
 後側のグラフは社人研の推計方法に準拠した人口推計をそれぞれ示しています。

1 圏域づくりのポイント

旧来の発想を乗り越え、圏域全体を視野に入れた施策展開を図ることで、各市町がそれぞれの強みを伸ばし弱みを相互に補いながら、「個性を生かして輝くことができる圏域」を形成する。



制作：広島市立大学芸術学部映像メディア造形研究室

「経済面」「生活面」「行政面」の3つの側面から実現を目指す

2 「経済面」のイメージ

ヒト・モノ・カネ・
情報が巡る都市圏

「ローカル経済圏」の構築

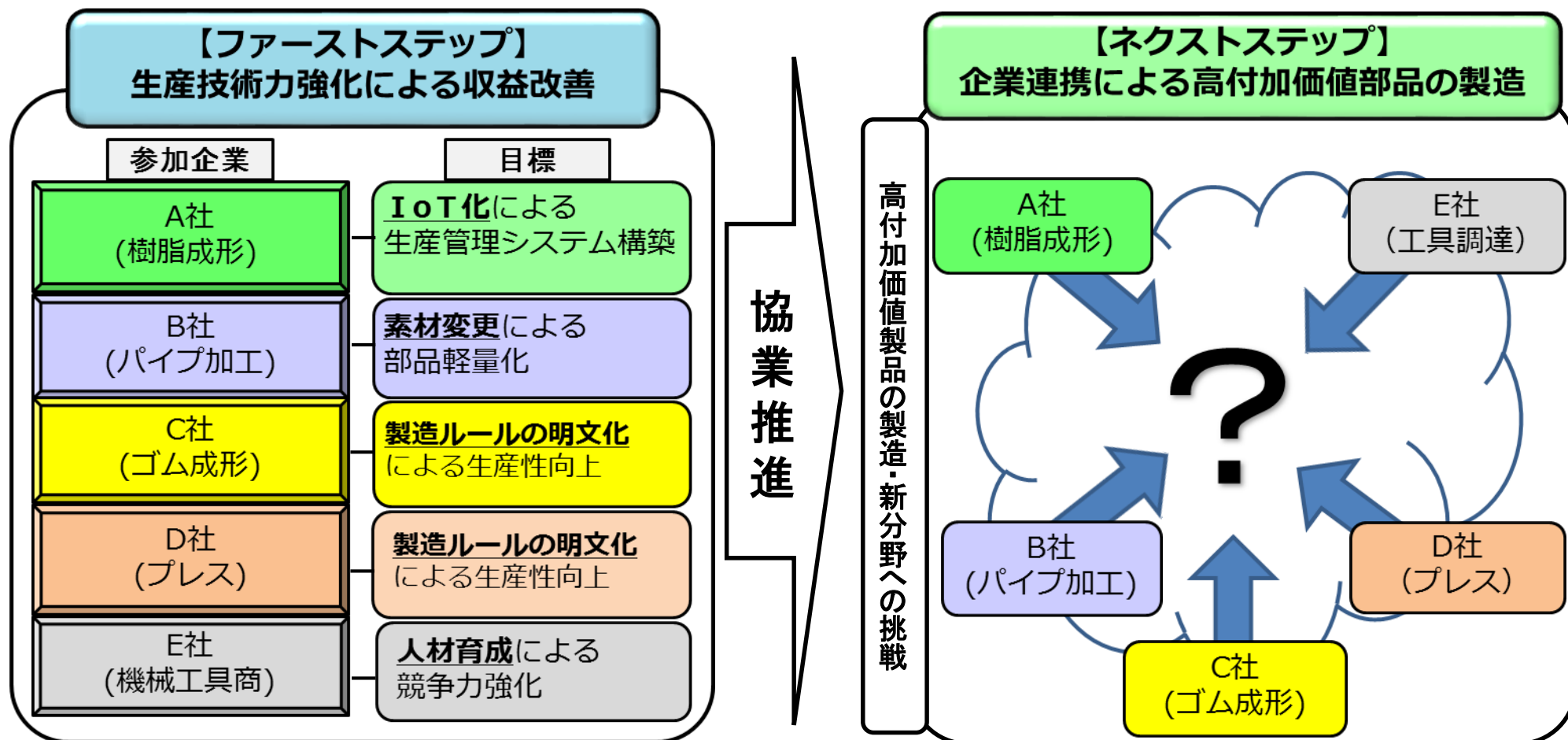


圏域の自律的・持続的な発展



市のまちづくり ～広島市の特徴ある行政施策～

広島広域都市圏での施策「多面的企業力向上研修会」



短期的にはディレクター(※)が各企業をヒアリングの上、目標の設定・実施を支援し、生産性の向上・収益改善を目指します。

※ 自動車メーカーO B等専門知識を有する者

中長期的には、各企業が技術を高めた上で、ディレクターの支援を受け、今まで作れなかった複雑な高付加価値部品を、協力して製造することを目指します。



市のまちづくり ～広島市の特徴ある行政施策～

オリジナル器具（いきいき体操ベルト）の開発支援

徳山産業(株)（北広島町）

シリコンゴム製ベルトの開発・製造

(株)ポップジャパン（広島市）

製品デザイン・販売

吉岡機工(株)（広島市）

マジックテープの選定・調達

(株)市林鐵工所（呉市）

ウェイト（バット型）の製造

藤井プレス工業(株)（呉市）

ウェイト（バット型）の開発

- 広島広域都市圏内の企業5社が、本市の支援のもと緊密に連携し、それぞれの技術を活かして介護予防体操用オリジナル器具「いきいき体操ベルト」を共同で開発



渡辺弘基さんとリハビリ専門職の出演



オリジナル器具を使用した体操の実演

オリジナルDVDの作成

（がんばれ!! カープ ひろしま百歳体操）

健康寿命の延伸！
介護予防！



DISC1

いきいき百歳体操（※）
（筋力運動など 約45分）

DISC2

いきいき百歳体操（ショートバージョン）
（筋力運動など 約30分）

DISC3

かみかみ百歳体操（口腔機能 約15分）
しゃきしゃき百歳体操（認知機能 約15分）

（※）いきいき百歳体操

介護予防効果が実証され、全国に広がりつつある重りを使った筋力向上のための体操



「財政運営方針」について ～広島市の財政状況と健全化への取組～

「財政運営方針(平成24年度～平成27年度)」の達成状況

基本方針

持続可能な財政構造を
確立する財政運営

地域の活力を生み出す財政運営

将来世代への責任を果たす財政運営

目標

収支不足の解消

中期財政収支見通しで見込まれた収支不足の
解消を図る。

財政調整基金を概ね75億円確保

平成27年度末までには概ね75億円となるように
する。

市債残高の抑制

臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額
を除いた市債残高を、4年間で8%減少させる。

達成状況

収支不足を解消

各年度実質収支は黒字を確保。平成27年度
の実質収支は24億円の黒字。

財政調整基金を概ね92億円確保

平成27年度末において、目標を上回る92億円
の基金残高となっている。

市債残高を7.1%減少

目標額には65億円届かなかった。
【要因】平成24年度に土地開発公社の解散に
伴う第三セクター等改革推進債を発行したため。

新たな「財政運営方針(平成28年度～平成31年度)」

基本方針

都市としての
活力を生み出す財政運営

まちづくりを支え続けることが
できる財政運営

将来のまちづくりを
見据えた財政運営

目標

収支の均衡

中期財政収支見通しで見込まれた収支不足を解消し、計画
期間における収支の均衡を図る。

市債残高の抑制

臨時財政対策債の残高及び減債基金積立累計額を除いた
市債残高を、今後4年間で1割程度減少させる。



特別会計・企業会計決算の状況 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

● 平成28年度決算（特別会計）

（単位：百万円）

会計名	歳入A	歳出B	差引額(A-B)C	翌年度繰越分充当財源D	実質収支(C-D)	一般会計からの繰入
特別会計	418,000	415,337	2,663	-	2,663	119,269
住宅資金貸付	7	7	-	-	-	1
母子父子寡婦福祉資金貸付	725	507	218	-	218	25
物品調達	59	44	15	-	15	-
公債管理	150,784	150,784	-	-	-	93,800
広島市民球場	978	944	34	-	34	-
用地先行取得	11	11	-	-	-	-
西風新都	1,134	1,134	-	-	-	-
後期高齢者医療	12,955	12,631	324	-	324	2,055
介護保険	87,208	85,899	1,309	-	1,309	12,449
国民健康保険	138,922	138,922	-	-	-	9,696
競輪	11,932	11,177	755	-	755	-
中央卸売市場	2,985	2,985	-	-	-	1,220
国民宿舎湯来ロッジ等	64	64	-	-	-	22
駐車場	650	643	7	-	7	-
開発	3,251	3,251	-	-	-	-
市立病院機構資金貸付	6,334	6,334	-	-	-	-
財産区会計	20	-	20	-	20	-
元宇品町財産区	1	-	1	-	1	-
三入財産区	7	-	7	-	7	-
砂谷財産区	12	-	12	-	12	-
合計	418,020	415,337	2,683	-	2,683	119,269

● 平成28年度決算（企業会計）

（単位：百万円）

区分	収益の収支（損益勘定）			資本的収支（資本勘定）					
	収入	支出	収支差引	収入	企業債	支出	企業債償還金	収支差引	補填財源
水道事業	24,293	21,931	2,363	4,199	3,616	12,665	5,708	▲ 8,467	8,467
下水道事業	45,368	44,010	1,359	43,186	30,244	60,969	43,552	▲ 17,783	17,783
安芸市民病院事業	2,118	2,119	▲ 1	171	76	221	146	▲ 50	50
合 計	71,779	68,060	3,721	47,556	33,936	73,855	49,406	▲ 26,300	26,300

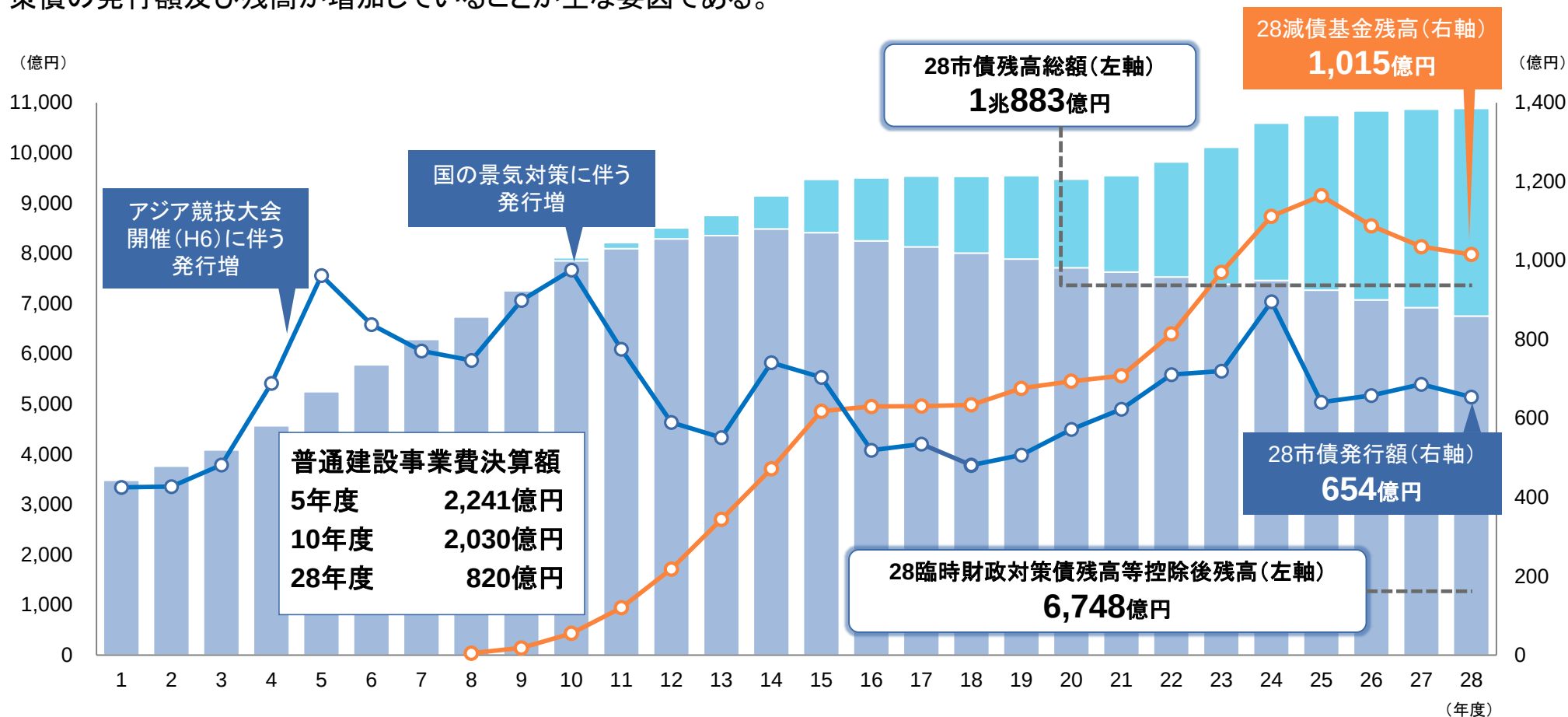


一般会計の市債発行額と残高の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

臨時財政対策債残高等
控除後残高とは

市債残高総額から臨時財政対策債の残高と減債基金積立累計額を除いた市債残高

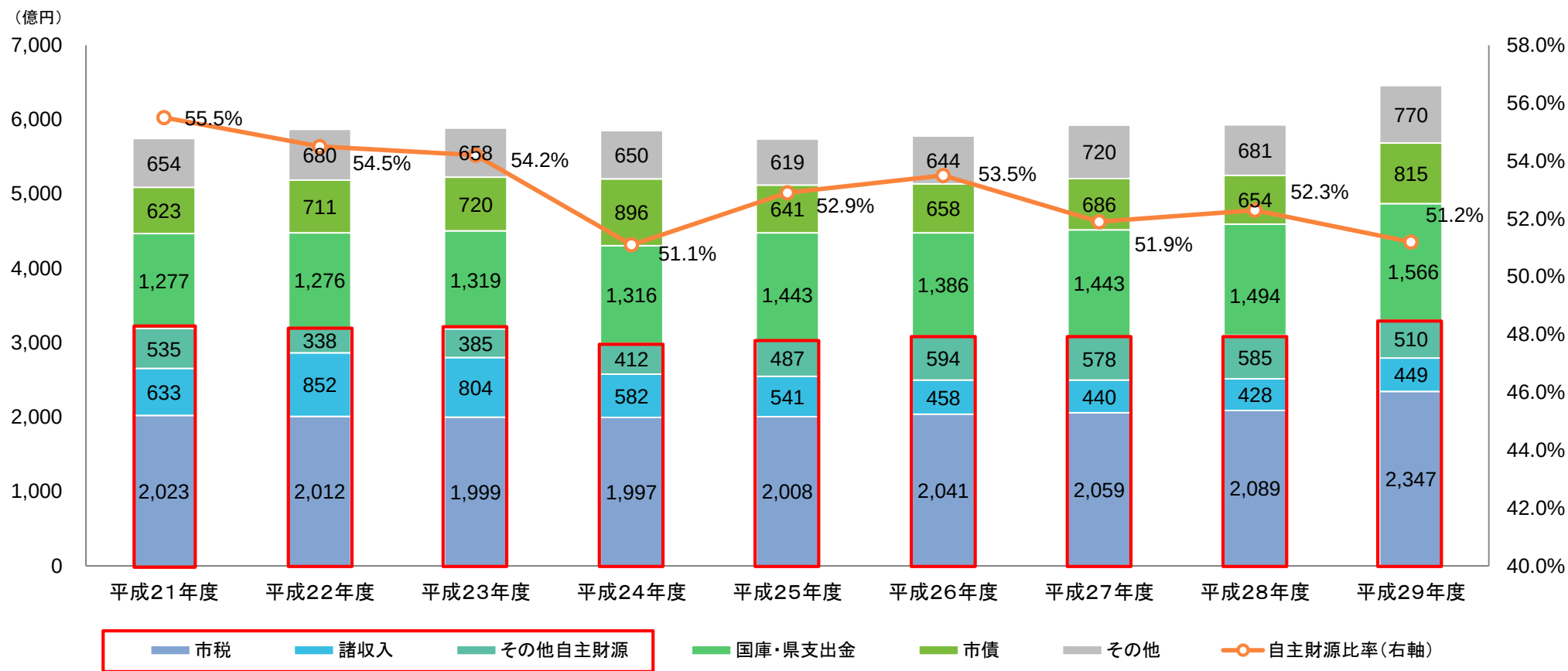
- 近年、市債発行額が増加している一方で、この残高が減少しているのは、通常債の発行額及び残高が減少する一方、臨時財政対策債の発行額及び残高が増加していることが主な要因である。





歳入構造(一般会計) ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 平成28年度一般会計決算の自主財源比率は52.3%で、自主財源の67.3%が市税である。
- 自主財源比率は50%程度で推移し、平成29年度当初予算では51.2%になっている。



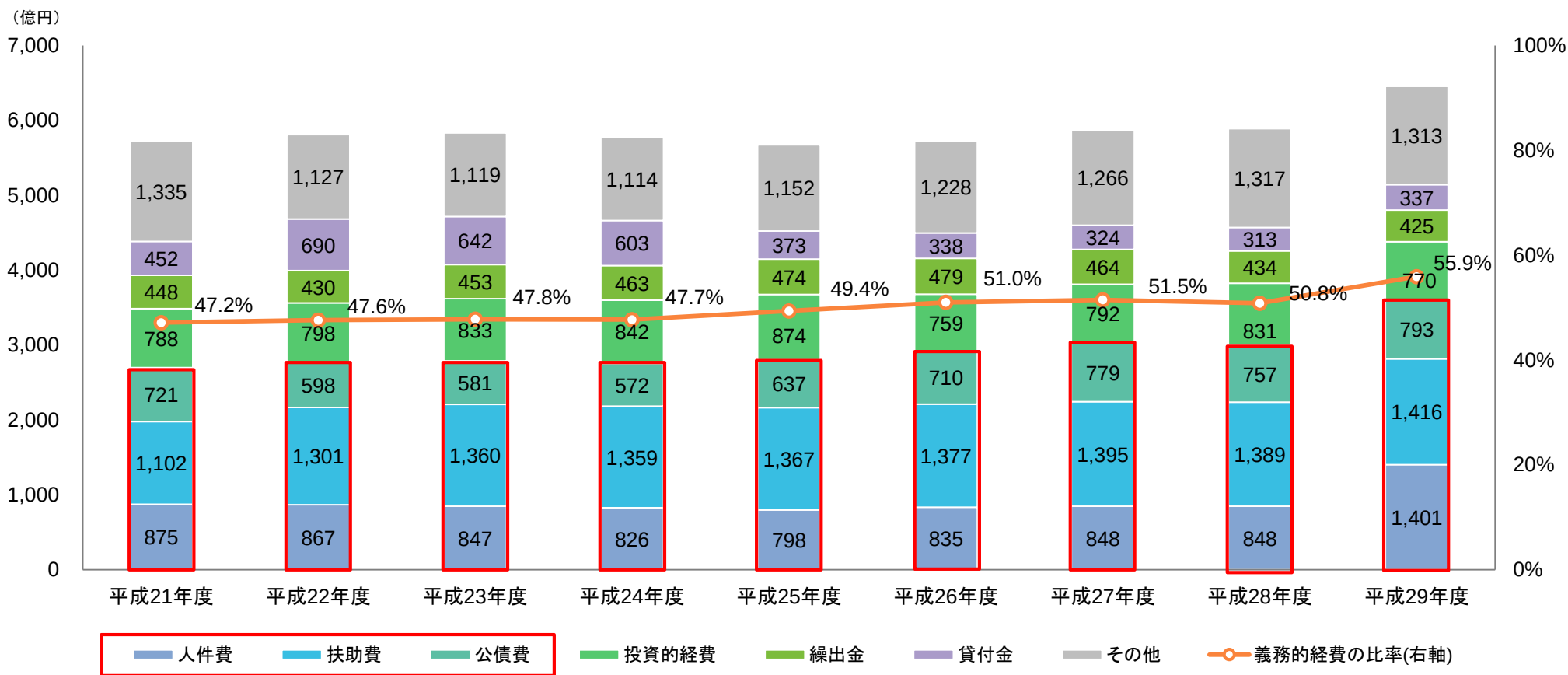
※ 平成28年度までは決算額、平成29年度は当初予算額

※ 平成29年度における県費負担教職員制度に係る包括的な権限の移譲に伴う財源措置分(分離課税所得割交付金及び県民税所得割臨時交付金)については市税に含めている。



歳出構造(一般会計) ～広島市の財政状況と健全化への取組～

- 平成28年度一般会計決算の義務的経費比率は50.8%で、義務的経費の46.4%は扶助費である。
- 義務的経費比率は概ね5割程度で、徐々に上昇傾向にあるが、これは交付税の振替わりである臨時財政対策債に係る公債費が増加するとともに社会保障費(扶助費)が増加しているためである。
- 平成29年度より人件費が増加しているが、県費負担教職員制度に係る権限委譲によるものであり、その影響額は544億円である。

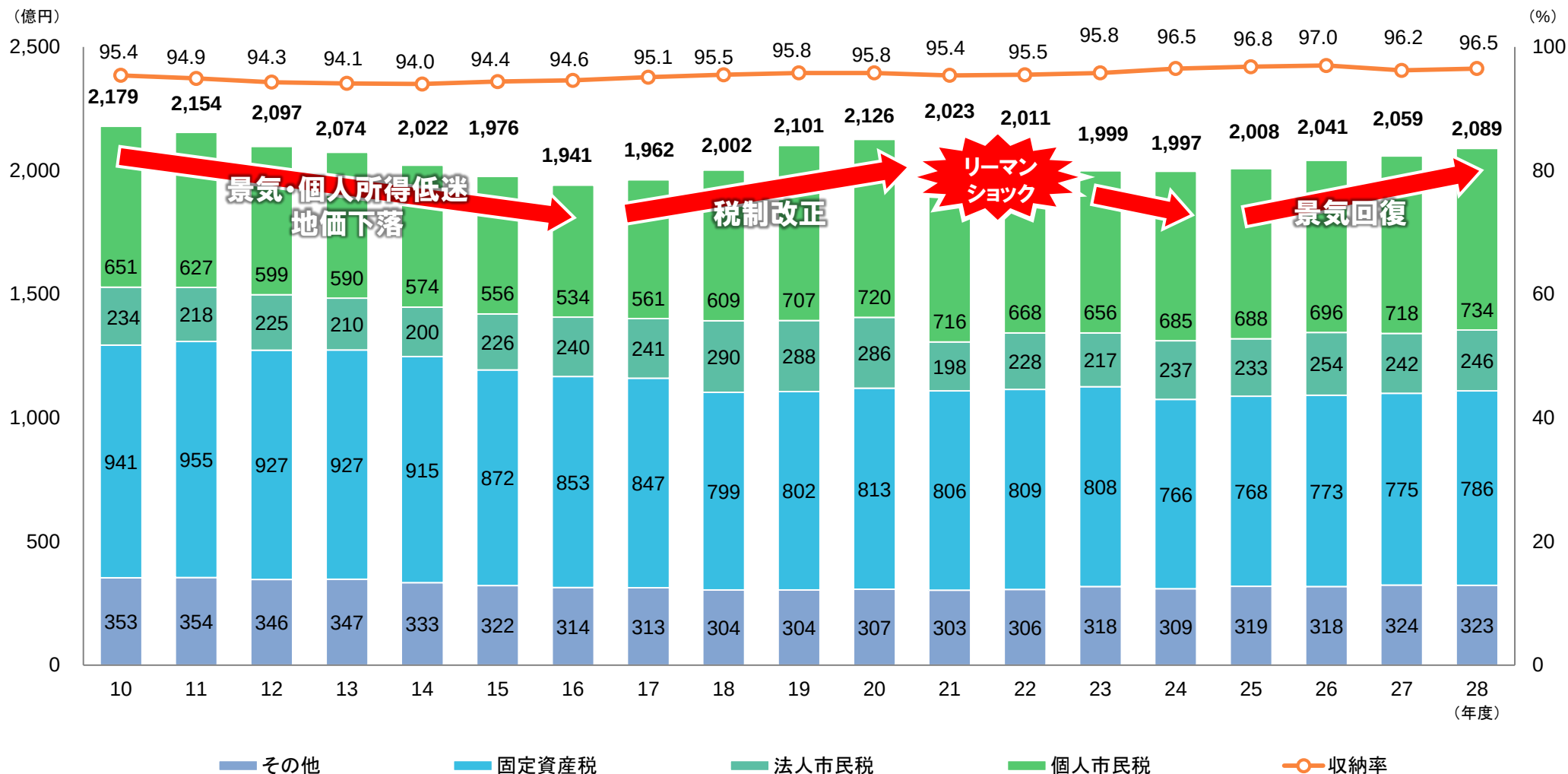


※ 平成28年度までは決算額、平成29年度は当初予算額



市税収入決算の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

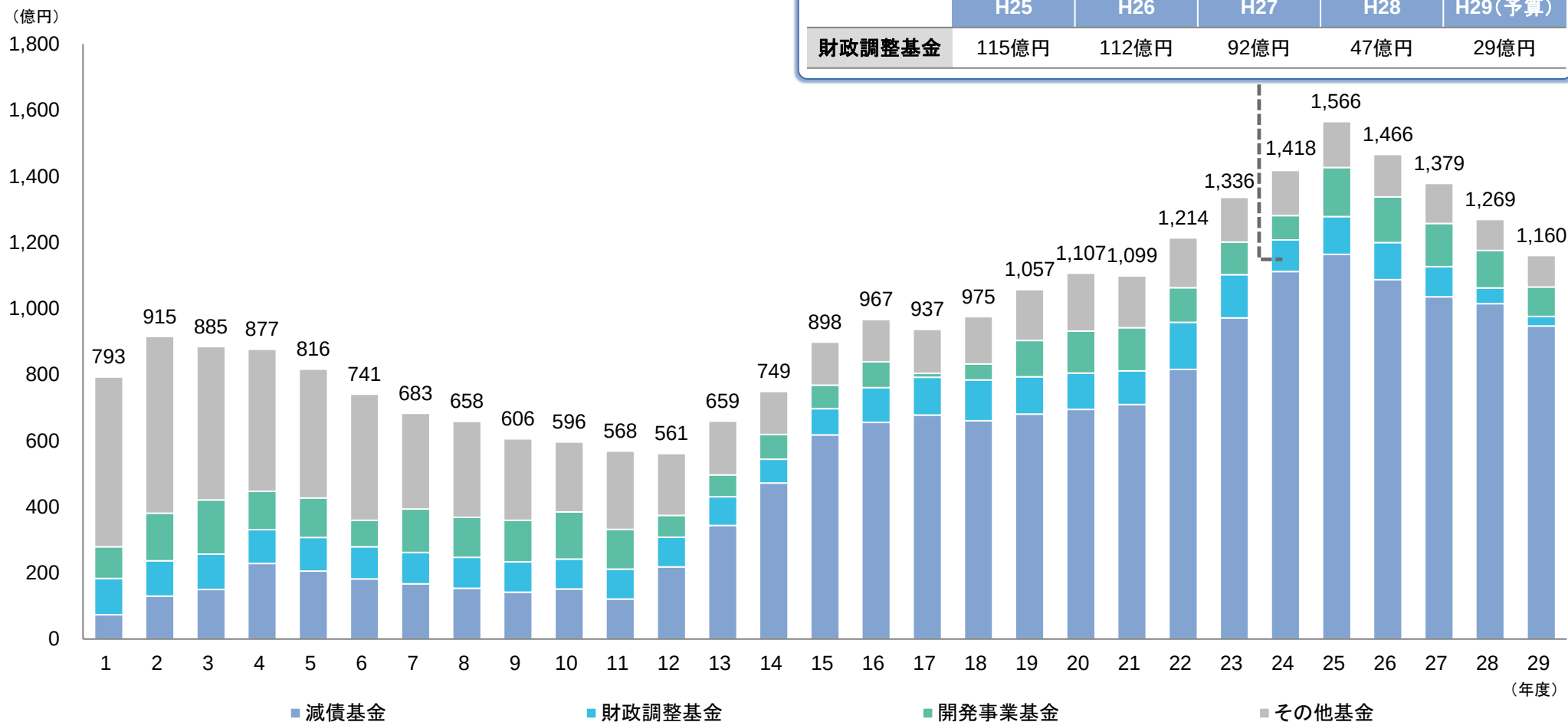
- 景気の動向や税制改正の影響を受けて、市税は増減。収納率は、近年ほぼ横ばい。





基金残高の推移 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

● 広島市の基金残高の推移



※ 平成29年度は、当初予算における見込み

● 平成28年度末の全基金残高は1,269億円

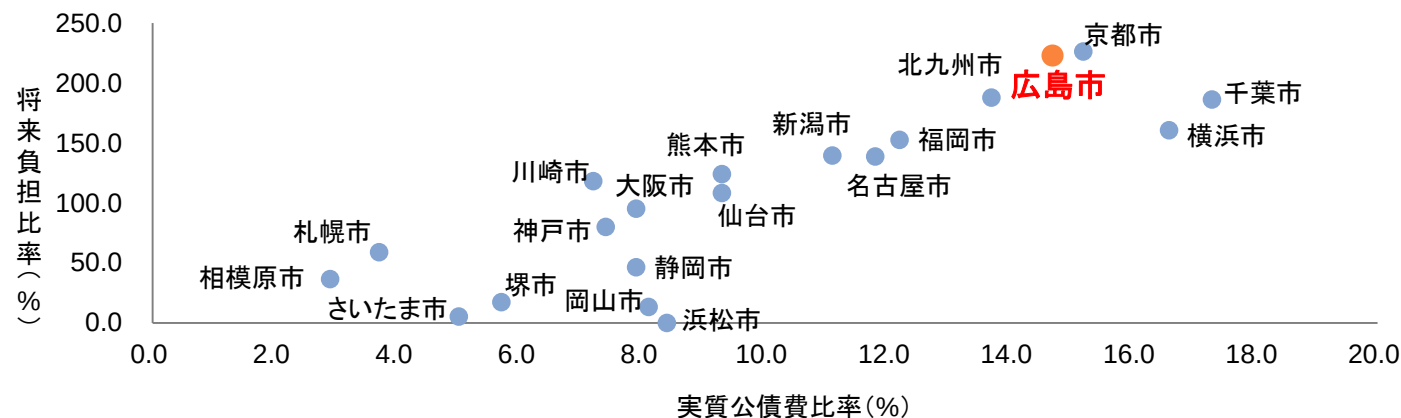


健全化判断比率の状況 ～広島市の財政状況と健全化への取組～

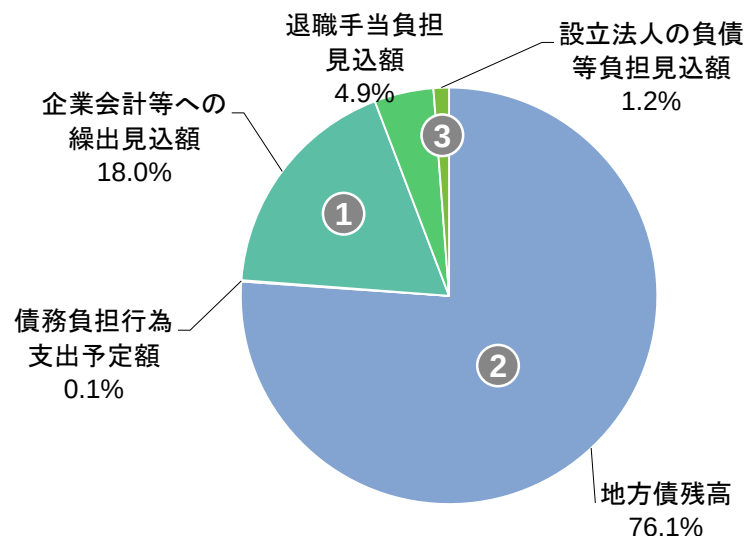
- 実質公債費比率、将来負担比率とも基準値に達していない。

区分	広島市の状況	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)	11.25	20.00
連結実質赤字比率	— (実質赤字は生じていない)	16.25	30.00
実質公債費比率	14.7	25.0	35.0
将来負担比率	222.8	400.0	

政令市の健全化判断比率の分布状況(28年度決算)



- 将来負担額(28年度算定)14,984億円



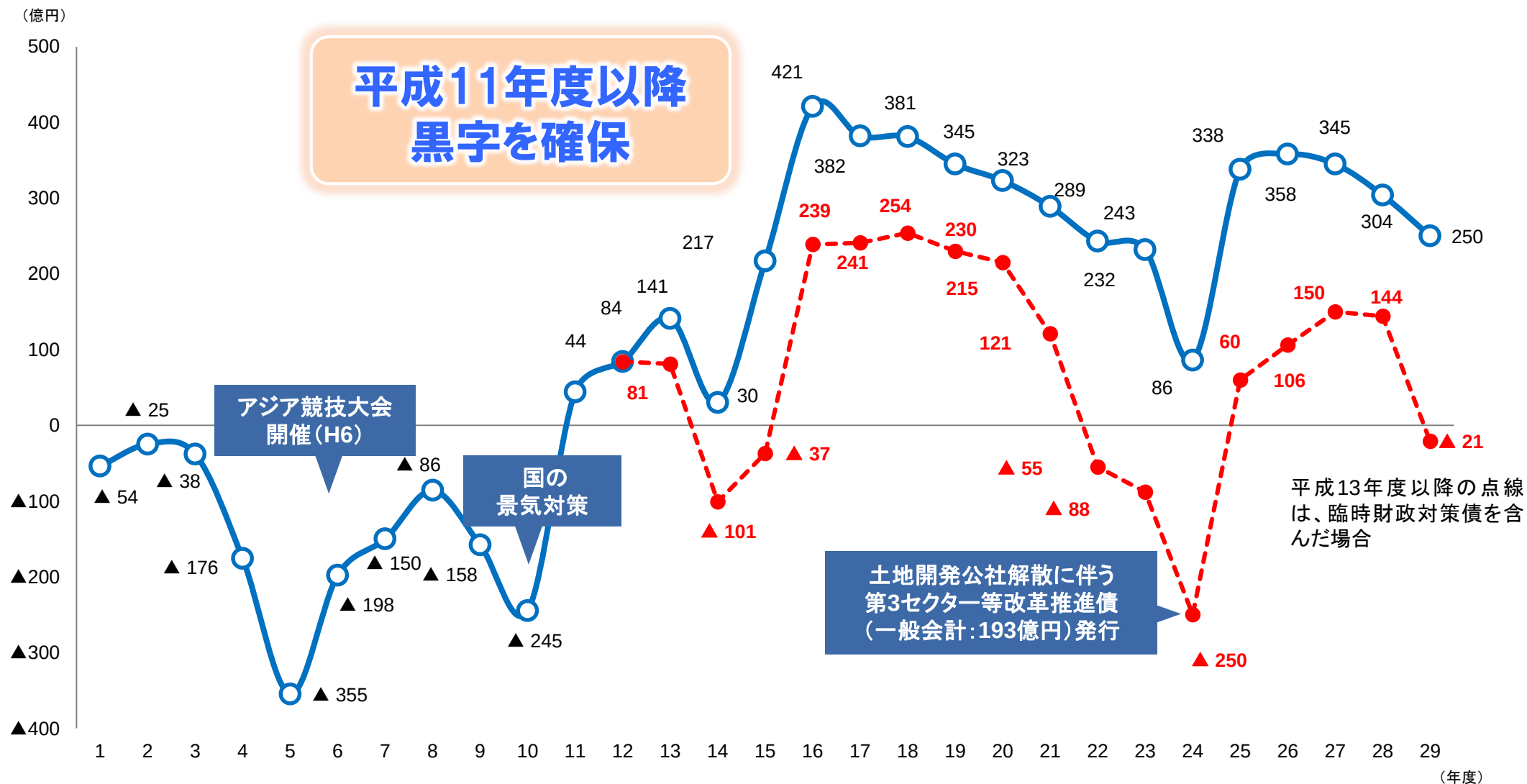
① 企業会計等への繰出見込額 (億円)	
水道事業	44
下水道事業	2,617
安芸市民病院事業	12
中央卸売市場事業	17
その他	2
合計	2,692

② 地方債残高 (億円)	
一般会計債	10,883
うち道路橋りょう・都市計画事業債	3,909
うち臨時財政対策債	3,240
うち教育関係事業債	979
特別会計債	516
合計	11,399

③ 設立法人の負債等負担見込額 (億円)	
広島地下街開発(株)	13
広島高速交通(株)	140
その他	28
合計	181



プライマリーバランス ～広島市の財政状況と健全化への取組～



※ 平成29年度は、当初予算における見込み



主な出資団体(第3セクター)の経営状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

● 平成28年度

(単位:百万円)

区分			広島高速道路公社	株式会社			
				広島市流通センター	広島高速交通	広島駅南口開発	広島地下街開発
出資	資本金		80,430	1,000	10,000	5,960	100
	うち本市出資額		40,215	700	5,100	3,762	-
	(出資比率%)		(50.0)	(70.0)	(51.0)	(63.1)	(43.3)
貸借対照表	資産	流動資産	6,251	73	3,572	1,104	630
		固定資産	373,258	4,098	31,964	30,909	12,725
		繰延資産	217	0	0	0	0
		資産合計	379,726	4,171	35,535	32,013	13,355
	負債	流動負債	26,597	260	17,374	818	6,709
		固定負債	217,398	426	18,224	26,067	13,094
		特別法上の引当金等	55,167	0	0	0	0
		負債合計	299,162	686	35,597	26,886	19,803
	純資産	資本金	80,430	1,000	10,000	5,960	100
		剰余金等	134	2,485	▲ 10,062	▲ 832	▲ 6,547
		純資産合計	80,564	3,485	▲ 62	5,128	▲ 6,447
		負債・純資産合計	379,726	4,171	35,535	32,013	13,355
損益計算書	経常損益	営業収益 a	12,844	434	5,022	2,377	1,130
		営業費用等 b	11,110	221	4,395	1,573	1,051
		営業利益 c=a-b	1,734	213	627	804	79
		営業外収益 d	166	1	18	10	13
		営業外費用 e	1,900	14	66	368	79
		経常利益 c+d-e	0	200	579	446	13
	特別損益		0	0	0	▲ 6	0
	当期利益(税引前)		0	200	579	440	13
	当期利益(税引後)		0	138	396	304	12
	<参考>前期利益(税引後)		<0>	<108>	<551>	<337>	<▲ 58>

※ 広島地下街開発㈱は、平成22年度に資本金を1億円に減資しているが、本市の出資比率は、従前同様43.3%である。



主な出資団体(第3セクター)の経営状況

～広島市の財政状況と健全化への取組～

● 経営状況説明

広島高速道路公社	整備計画に定める5つの路線のうち最後の路線となる高速5号線の平成32年度完成に向け、平成29年度はトンネル工事等を進めていく。
広島市流通センター(株)	運輸業界は総輸送量が前年度を若干下回る中、引き続き深刻なドライバー不足や長時間労働への対応などの課題もあり、厳しい経営環境が続いたものの、当センターはトラックターミナルへの新規テナントの入居等により平成28年度も引き続き黒字を確保した。
広島高速交通(株)	- 平成26年度の新白島駅開業に伴う利用者の増加等により年間を通して通勤及び学生定期利用が好調だったことに加え、Jリーグ観戦に対応した列車の増発などにより1日平均利用者数は63,312人(対前年度比4.2%増)、1日平均運輸収入は1,196万円(対前年度比3.0%増)となり5年連続で黒字を達成した。 - 今後は、沿線施設との連携等による利用者増などにより、黒字を継続し、債務超過解消を目指す。
広島駅南口開発(株)	- 平成17年度に策定した経営改善スキームにより、平成17年度以降当期損益は概ね黒字を維持。 - 平成28年度は、賃料収入や駐車場収入などの増加により、売上高は23.8億円と対前年度1,419万円増加したものの、駐車場修繕費の増加などにより売上原価は14.8億円と対前年度5,444万円増加し、営業利益は対前年度6,114万円減の8.0億円を計上し、前年度に続き黒字を達成した。
広島地下街開発(株)	- 平成17年度に、固定資産の減損処理を実施したことで債務超過に。 - 平成22年度に減資することで累積損失を圧縮するとともに、平成17年度に策定した経営改善スキームにより資金繰りを改善、安定的な経営を目指す。



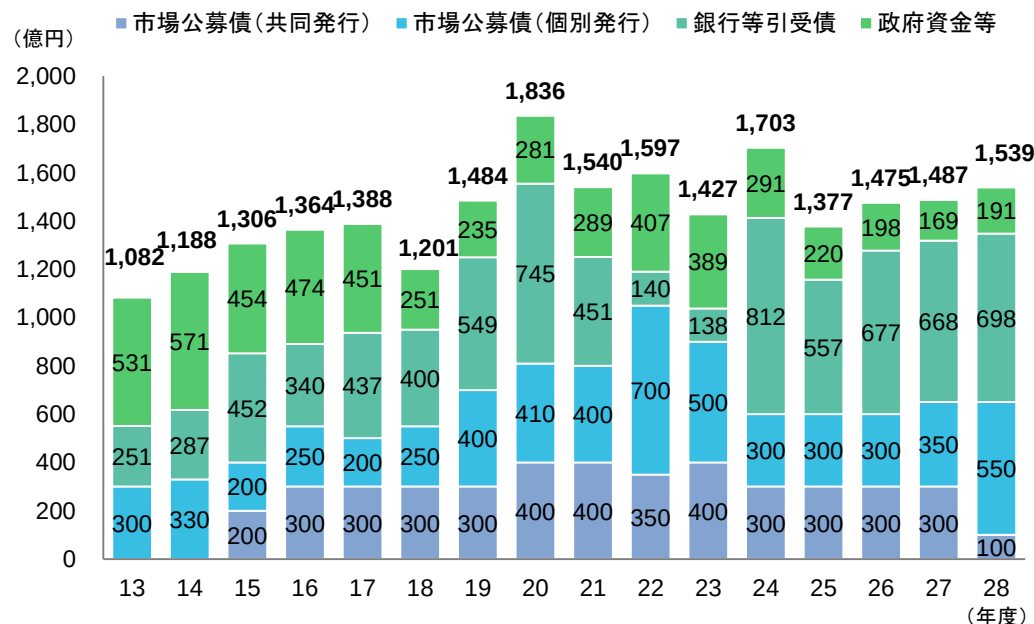
起債運営方針 ～広島市の資金調達～

資金調達の方針 ～政府資金等から民間資金へ～

市場公募債の安定消化の継続

- ・ 全国型市場公募債(10年債)を昭和57年度から継続して発行、平成22年度から5年債を発行、**平成29年度から20年債を発行**
- ・ 共同発行市場公募債の発行に平成15年度から参加

市債発行額の推移



公債費抑制のための取組(財政運営方針)

- ・ 臨時財政対策債等控除後の市債残高について、平成31年度までの4年間で1割程度の減少を目指す

市債の直近の発行実績

回号	年限	発行日	発行額	表面利率	応募者利回り
平成28年度第1回	5年	H28.6.24	100億円	0.005%	0.005%
平成28年度第2回	10年	H28.8.25	100億円	0.070%	0.070%
平成28年度第3回	5年	H28.10.25	100億円	0.001%	0.0006%程度
平成28年度第4回	10年	H28.12.26	150億円	0.165%	0.165%
平成28年度第5回	10年	H29.2.27	100億円	0.240%	0.240%
平成29年度第1回	5年	H29.6.26	100億円	0.010%	0.010%
平成29年度第2回	20年	H29.8.18	100億円	0.616%	0.616%



平成29年度発行計画 ～広島市の資金調達～

● 平成29年度広島市債発行計画

市場公募債	発行年限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
個別発行	5年	100				100									200
	10年										100		100		200
	20年	100						100						200	
共同発行	10年	30				20			30			20			100
合計		0	0	130	0	0	20	100	30	150	0	120	0	700	

- ・借入予定総額は1,576億円
うち民間資金借入予定額は1,415億円(全体の89.8%)
- ・市場公募債の発行予定総額は700億円(全体の44.4%)
うち広島市個別発行分は600億円(全体の38.1%)
- ・銀行等引受債の発行予定額は715億円(全体の45.4%)

● 広島市債引受シンジケート団

5 年 債	銀行団		証券団	
	金融機関名	シェア	金融機関名	シェア
	広島銀行	19.5	SMBC日興証券	11.0
	みずほ銀行	16.0	大和証券	10.0
	三井住友銀行	1.0	野村証券	10.0
	三菱東京UFJ銀行	1.5	みずほ証券	9.5
	新生銀行	2.0	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5.0
	三井住友信託銀行	0.5	岡三証券	2.0
	もみじ銀行	6.5	東洋証券	1.5
	広島信用金庫	3.0	丸三証券	1.0
	計[8]	50.0	計[8]	50.0

10 年 債	銀行団		証券団	
	金融機関名	シェア	金融機関名	シェア
	広島銀行	19.5	SMBC日興証券	11.0
	みずほ銀行	16.0	大和証券	10.0
	三井住友銀行	1.0	野村証券	10.0
	三菱東京UFJ銀行	1.5	みずほ証券	9.5
	新生銀行	2.0	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	5.0
	三井住友信託銀行	0.5	岡三証券	2.0
	もみじ銀行	6.5	東洋証券	1.5
	広島信用金庫	3.0	丸三証券	1.0
	計[8]	50.0	計[8]	50.0



広島を世界に誇れる「まち」に

「対話・ビジョン・実行」によって市政に活力を生み出す

対話

広島「秘めたる力」を引き出す
一連の対応や行動

ビジョン

夢であると同時に展望であり、
実現するためのもの

実行

ビジョンを大切にしながら、
今置かれた状況に真剣に向き合い、
確実に実現

本資料に関するお問い合わせ先

広島市財政局財政課資金係（担当 森田、山根）

- TEL 082-504-2074
- FAX 082-504-2099
- E-mail zaisei@city.hiroshima.lg.jp
- HP <http://www.city.hiroshima.lg.jp/index2.html>
- トップページ ▶ 市政全般 ▶ 広島市の概要 ▶ 市の財政 ▶ 市債・投資家情報

本資料は、広島市債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、広島市の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売り出しまたは募集を意図するものではありません。

本資料中、平成28年度決算に係る数値等については平成29年10月時点での見込みであり、今後変更となる可能性があります。